

第137回横浜市景況・経営動向調査（令和8年6月実施）（通常調査）

調査結果のまとめ

- ・ 自社業況BSIは、全産業で▲13.2と、前期から2.6ポイント低下
- ・ 規模別では、大企業が前期より3.0ポイント上昇した一方で、中小企業は前期より2.1ポイント低下、中小企業のうち小規模企業は前期より14.9ポイントと大幅に低下した

【調査のポイント】

- 今期（令和8年4-6月期）の自社業況BSI（※）は▲13.2と、前期（▲10.6）と比べて2.6ポイント低下しました。
- 業種別では、製造業の今期のBSIは▲13.5と、前期（▲12.1）より1.4ポイント低下しました。非製造業の今期のBSIは▲12.9と、前期（▲9.6）より3.3ポイント低下しました。
- 規模別では、大企業の今期のBSIは0.0と、前期（▲3.0）より3.0ポイント上昇、中堅企業の今期のBSIは▲7.1と、前期（▲1.8）と比べて5.3ポイント低下となりました。中小企業の今期のBSIは▲15.2と、前期（▲13.1）より2.1ポイント低下、また中小企業のうち小規模企業の今期のBSIは▲29.1と、前期（▲14.2）より14.9ポイント低下しました。

【調査対象】市内企業1,000社（回収数：617社、回収率：61.7%）

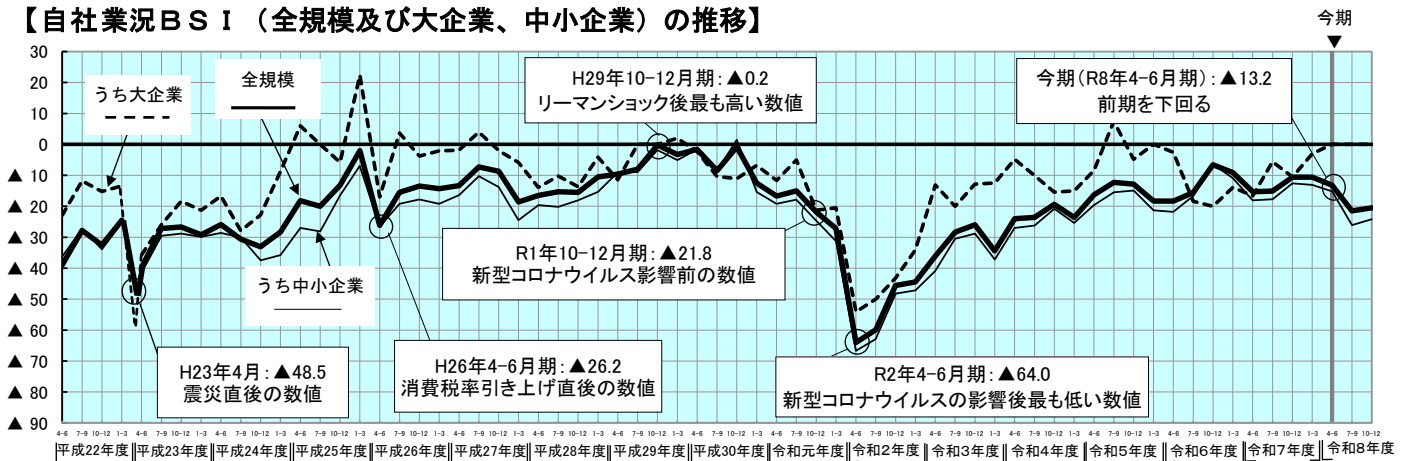
【調査時期】令和8年4月23日～5月25日

※BSI（Business Survey Index）：自社業況BSIは、自社業況が「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合を減じた値です。

【調査の概要】

1 自社業況判断（自社業況BSI：良い%－悪い%）

【自社業況BSI（全規模及び大企業、中小企業）の推移】



【自社業況BSI（業種別・規模別）の推移】

		令和7年 7-9月期	令和7年 10-12月期	令和8年 1-3月期 (前期)	令和8年 4-6月期 (今期)	今期-前期	令和8年 7-9月期 (来期)	令和8年 10-12月期 (再来期)
全産業		▲15.1	▲10.6	▲10.6	▲13.2	▲2.6	▲21.5	▲20.5
業種	製造業	▲21.3	▲11.6	▲12.1	▲13.5	▲1.4	▲21.0	▲22.2
	非製造業	▲10.8	▲9.9	▲9.6	▲12.9	▲3.3	▲21.9	▲19.4
規模	大企業	▲5.6	▲10.5	▲3.0	0.0	3.0	0.0	0.0
	中堅企業	▲6.9	▲1.9	▲1.8	▲7.1	▲5.3	▲6.1	▲9.3
	中小企業	▲17.7	▲12.6	▲13.1	▲15.2	▲2.1	▲26.1	▲24.2
	うち小規模企業	▲24.4	▲17.7	▲14.2	▲29.1	▲14.9	▲37.0	▲37.0

（注）令和8年7-9月期及び令和8年10-12月期は見通し。

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



【業種別動向】(前期:令和8年1-3月期、今期:令和8年4-6月期、来期:令和8年7-9月期)

業種	前期	今期	来期	ヒアリング対象企業のコメント
食料品等	 ▲ 20.0 (▲ 21.5)	 ▲ 31.3 (▲ 33.3)	 ▲ 37.5 (▲ 40.0)	・中東情勢の影響による原油関連資材の高騰、品薄が予想される。(生菓子製造) ・現時点ではインバウンドに関連して国内売上減少が続いているが、今後、輸出製品の売り上げ減少が予測され、減収減益が避けられそうにない。(油脂・ろう卸)
鉄鋼・金属等	 ▲ 18.6 (▲ 18.9)	 ▲ 15.4 (▲ 15.4)	 ▲ 19.6 (▲ 19.6)	・半導体部品の生産量は変わらないが、その他の業界が軒並み低迷している。(製缶板金業) ・中東情勢の影響により原油、資材の高騰、また円安に起因する資材の高騰が続いて価格に転嫁出来ない。(金属製品塗装業)
一般機械	 0.0 (▲ 1.9)	 ▲ 18.2 (▲ 19.6)	 ▲ 26.4 (▲ 28.6)	・自動車関連のEV化に伴い、新規製品の受注の置き換えが、遅れている。(機械工具製造) ・中東情勢の影響で包装資材(プラスチック関係)仕入れ・材料費高騰がさらに続いて影響が大きくなる。(他産業機械装置製造)
電機・精密等	 ▲ 10.9 (▲ 12.8)	 4.4 (0.0)	 4.5 (▲ 2.7)	・4月に入り、全体的に受注が上向いている。特に4月から6月は、半導体関連の需要増が見込まれる。10月から12月はコネクタ関連の新規顧客からの受注が見込まれる。(その他電子部品製造) ・電力インフラの取り換え需要による。(電力制御装置等製造)
輸送用機械	 ▲ 5.3 (▲ 6.7)	 0.0 (0.0)	 ▲ 10.5 (▲ 14.3)	・自動車主要取引先の生産台数減少によるもの。その損害費用の回収も厳しい状況のため。(自動車部品製造) ・中東情勢の影響で先行き不透明。機械油やプラスチック包材が注文ストップされている。原材料の値上げを価格転嫁できていない。(自動車部品製造)
建設業	 0.0 (0.0)	 ▲ 14.6 (▲ 15.2)	 ▲ 20.8 (▲ 21.8)	・カーボンニュートラルの進展に伴い、火力発電への設備投資が削減され、関連工事が減少。(一般電気工事業) ・市発注の官庁工事を受注出来ていないため。(一般管工事業)
運輸・倉庫業	 ▲ 13.7 (▲ 20.0)	 ▲ 12.7 (▲ 13.1)	 ▲ 25.5 (▲ 31.6)	・乗務員・総合職の採用活動を継続しているが、必要人員の確保には至っていない。燃料の国の補助終了に伴う燃料高騰の影響。(一般貨物自動車運送) ・タクシー運賃の値上げにより売上は回復傾向にあるが、燃料費等の物価高騰や人件費の高騰、人員不足により利益増は見込めない状況。(乗用旅客自動車運送)
卸売業	 ▲ 14.9 (▲ 13.4)	 ▲ 11.3 (▲ 4.7)	 ▲ 25.8 (▲ 27.9)	・消費者の実質賃金の低下により食品に対する節約志向が続いている。(生鮮魚介卸) ・弊社の主要市場である中国マーケットにおける、顧客企業の製品購買ニーズが、回復しないこと。(精密機械器具卸)
小売業	 ▲ 22.3 (▲ 33.3)	 ▲ 27.9 (▲ 34.7)	 ▲ 39.5 (▲ 46.2)	・既に影響が出ているが、石油由来の消耗品は発注制限がかかっており、先行き不透明。(パン製造小売) ・物価高による買い控えが懸念される。中東情勢の影響による備品調達不安定になるとともに、取引先の石油製品単価が高騰してきている。(医薬品小売)
飲食店・宿泊業	 30.0 (0.0)	 0.0 (▲ 14.3)	 ▲ 22.2 (▲ 42.8)	・各方面の値上がりによる不透明感。(酒場、ピヤホール) ・材料費の高騰と品不足の懸念がある包材が高騰しているが、価格転嫁が追い付かない。(中華・東洋料理店)
不動産業	 ▲ 3.3 (▲ 5.9)	 ▲ 25.7 (▲ 36.4)	 ▲ 40.0 (▲ 50.0)	・一般客の収入があがらない中、金融機関の貸し付け条件悪化と建築費増加で売値を上げられず利益を削るしかない。(不動産代理・仲介業) ・所有物件の修繕工事の予定があるが、修繕費用の高騰と工事期間の長期化の影響が大きい。(貸事務所業)
情報サービス業	 ▲ 3.1 (0.0)	 0.0 (▲ 5.8)	 8.8 (5.9)	・商談数が増えてきている。(情報提供サービス) ・ソフトウェア受託開発の売り上げが回復している。(ソフト受託開発)
対事業所サービス業	 ▲ 10.9 (▲ 14.3)	 5.7 (3.4)	 ▲ 1.9 (▲ 10.0)	・営業活動が順調かつ経費削減が行えている。(広告代理業) ・引続き強い警備需要があるため、労務費上昇分の価格転嫁が概ね順調に推移している。(警備業)
対個人サービス業	 ▲ 12.5 (▲ 17.4)	 ▲ 29.1 (▲ 28.5)	 ▲ 34.5 (▲ 40.0)	・プラスチック製品の価格高騰と納期の遅延や個数制限の影響が大きい。価格が高くても、必要数を確保するために購入しなくてはいけないことがある。(一般病院) ・需要はあるが、中東情勢の影響により仕事ができない。材料不足による経営打撃がきている。(電気機械器具修理)

※BSI=自社業況「良い」%-自社業況「悪い」%
 ※今期のBSI(全規模)が前期よりも10ポイント以上差がある業種については、矢印を表記している。
 ※表中の見方は右図の通り。

	← 天気マーク(下図参照)
▲ 5.8	← 全規模のBSI値
(▲ 22.2)	← 中小企業のBSI値

BSI	▲60.1以下	▲60.0~ ▲40.1	▲40.0~ ▲20.1	▲20.0~ ▲5.1	▲5.0~ 5.0	5.1~ 20.0	20.1以上
天気							

次頁あり



GREEN x EXPO 2027
 YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷



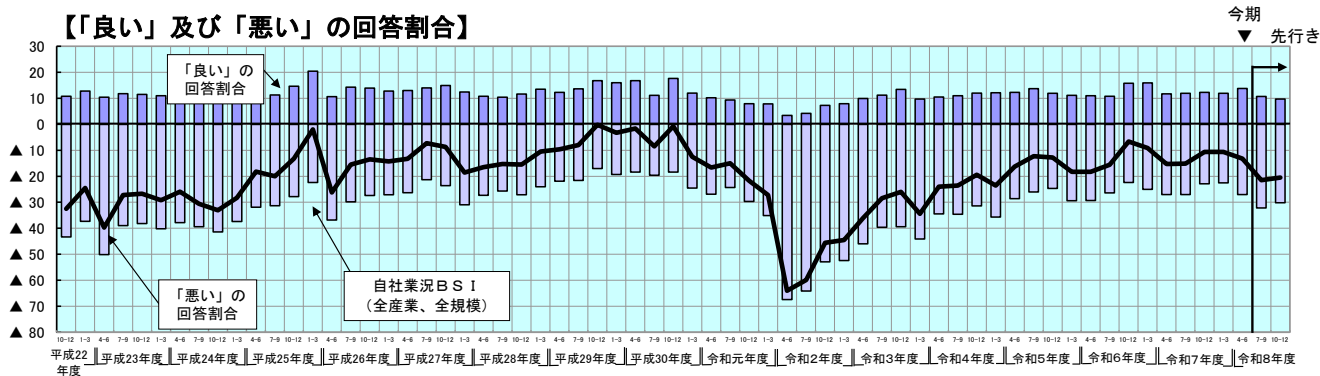
(参考資料) 自社業況BSI (業種別・規模別の推移)

	令和8年	令和8年	4-6月期の回答の割合%	良い	普通	悪い	令和8年	令和8年	回答
	1-3月期	4-6月期					今期-前期	7-9月期	
全産業	▲ 10.6	▲ 13.2	▲ 2.6	13.8	59.2	27.0	▲ 21.5	▲ 20.5	(*) 615
製造業	▲ 12.1	▲ 13.5	▲ 1.4	14.6	57.3	28.1	▲ 21.0	▲ 22.2	253
食料品等	▲ 20.0	▲ 31.3	▲ 11.3	0.0	68.8	31.3	▲ 37.5	▲ 28.6	16
繊維・衣服等	▲ 14.3	▲ 83.3	▲ 69.0	0.0	16.7	83.3	▲ 66.7	▲ 50.0	6
印刷	▲ 46.6	▲ 5.9	▲ 40.7	17.6	58.8	23.5	▲ 37.5	▲ 25.0	17
石油・化学等	▲ 4.7	▲ 19.0	▲ 14.3	4.8	71.4	23.8	▲ 23.8	▲ 23.8	21
鉄鋼・金属等	▲ 18.6	▲ 15.4	▲ 3.2	15.4	53.8	30.8	▲ 19.6	▲ 25.0	52
一般機械	0.0	▲ 18.2	▲ 18.2	12.7	56.4	30.9	▲ 26.4	▲ 25.5	55
電機・精密等	▲ 10.9	▲ 4.4	▲ 15.3	22.2	60.0	17.8	▲ 4.5	▲ 0.0	45
輸送用機械	▲ 5.3	▲ 0.0	▲ 5.3	21.1	57.9	21.1	▲ 10.5	▲ 26.3	19
その他製造業	▲ 12.0	▲ 13.6	▲ 1.6	18.2	50.0	31.8	▲ 31.8	▲ 33.3	22
非製造業	▲ 9.6	▲ 12.9	▲ 3.3	13.3	60.5	26.2	▲ 21.9	▲ 19.4	362
建設業	0.0	▲ 14.6	▲ 14.6	16.7	52.1	31.3	▲ 20.8	▲ 22.2	48
運輸・倉庫業	▲ 13.7	▲ 12.7	▲ 1.0	12.8	61.7	25.5	▲ 25.5	▲ 17.0	47
卸売業	▲ 14.9	▲ 11.3	▲ 3.6	16.1	56.5	27.4	▲ 25.8	▲ 30.6	62
小売業	▲ 22.3	▲ 27.9	▲ 5.6	9.3	53.5	37.2	▲ 39.5	▲ 30.2	43
飲食店・宿泊業	30.0	▲ 0.0	▲ 30.0	22.2	55.6	22.2	▲ 22.2	▲ 11.1	9
不動産業	▲ 3.3	▲ 25.7	▲ 22.4	5.7	62.9	31.4	▲ 40.0	▲ 40.0	35
情報サービス業	▲ 3.1	▲ 0.0	▲ 3.1	14.7	70.6	14.7	▲ 8.8	▲ 2.9	34
対事業所サービス業	▲ 10.9	▲ 5.7	▲ 16.6	18.9	67.9	13.2	▲ 1.9	▲ 3.8	53
対個人サービス業	▲ 12.5	▲ 29.1	▲ 16.6	3.2	64.5	32.3	▲ 34.5	▲ 24.1	31

BSI (Business Survey Index)は、景気の強弱感を次の算式により求めている。BSI = 良い% - 悪い%

	令和8年	令和8年	4-6月期の回答の割合%	良い	普通	悪い	令和8年	令和8年	回答
	1-3月期	4-6月期					今期-前期	7-9月期	
全産業	▲ 10.6	▲ 13.2	▲ 2.6	13.8	59.2	27.0	▲ 21.5	▲ 20.5	(*) 615
大企業	▲ 3.0	▲ 0.0	▲ 3.0	15.6	68.8	15.6	▲ 0.0	▲ 0.0	32
中堅企業	▲ 1.8	▲ 7.1	▲ 5.3	11.1	70.7	18.2	▲ 6.1	▲ 9.3	99
中小企業	▲ 13.1	▲ 15.2	▲ 2.1	14.3	56.2	29.5	▲ 26.1	▲ 24.2	484
うち小規模企業	▲ 14.2	▲ 29.1	▲ 14.9	8.9	53.1	38.0	▲ 37.0	▲ 37.0	192
製造業	▲ 12.1	▲ 13.5	▲ 1.4	14.6	57.3	28.1	▲ 21.0	▲ 22.2	253
大企業	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 20.0	20.0	70.0	10.0	▲ 20.0	▲ 20.0	10
中堅企業	▲ 22.2	▲ 11.1	▲ 11.1	11.1	88.9	0.0	▲ 11.1	▲ 25.0	9
中小企業	▲ 13.5	▲ 15.4	▲ 1.9	14.5	55.6	29.9	▲ 24.0	▲ 25.8	234
うち小規模企業	▲ 12.1	▲ 25.4	▲ 13.3	11.4	51.8	36.8	▲ 30.2	▲ 34.2	114
非製造業	▲ 9.6	▲ 12.9	▲ 3.3	13.3	60.5	26.2	▲ 21.9	▲ 19.4	362
大企業	▲ 0.0	▲ 4.6	▲ 4.6	13.6	68.2	18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	22
中堅企業	▲ 4.0	▲ 8.9	▲ 4.9	11.1	68.9	20.0	▲ 7.9	▲ 12.4	90
中小企業	▲ 12.8	▲ 15.2	▲ 2.4	14.0	56.8	29.2	▲ 28.2	▲ 22.7	250
うち小規模企業	▲ 17.5	▲ 34.6	▲ 17.1	5.1	55.1	39.7	▲ 46.7	▲ 40.8	78

(※) 回収数 (617件) のうち、無回答数 (2件) を除いた値。



◎報告書掲載 URL <https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kigyoshien/tokei-chosa/keikyou.html>



※本件は、横浜経済記者クラブへも同時発表しています。

お問合せ先
企画調整課長 松本 Tel 045-671-2565



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷

